

漫湖水鳥・湿地センター

たよい

2006年8月10日発行

No.37



自然講座 楽しく学ぼう!! マングローブ



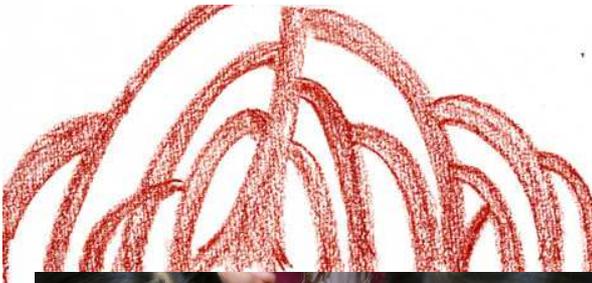
オヒルギの根を持って解説する馬場先生

7月15日、講師に馬場繁幸先生(国際マングローブ生態系協会)を迎え、マングローブについての講座を行いました。

大きなバックを抱えて馬場先生がセンターに到着しました。講座が始まるとバックからマングローブの根や幹など、いろいろなものが登場し、参加者を楽しませました。

水に沈む木・年輪のない木・上に伸びる根…常識はずれの木、マングローブ。すぐ近くにあるマングローブをただ見ているだけでは気づかないマングローブの秘密を教えてくださいました。

身近にあるマングローブをはじめ、身の回りの自然には、たくさんの「発見!!」や「びっくり!!」がありそうです。そんなことに気づかされる講座でした。



マングローブの幹に年輪があるのか、確かめる参加者。年輪のない木ってあるのかな??



マングローブの幹や種など実物を見せてもらいました。みんな興味津々!!

夏休み自由研究企画 探検・発見・ほっとけん ～漫湖の水質調査をしよう～

7月22日、講師に上原行雄先生(沖縄県環境科学センター)を迎え、水質調査の講座を行いました。

上原先生があらかじめ集めてきてくれた国場川の上流・中流・下流の水を簡単に水質が調べられるパケットを使って調べました。

パケットの結果から、海水で薄められる下流よりも人間が多く生活し、排水も多い中流域のほうが汚れていることが分かりました。

後半は、室内でスライドを見ながら国場川の変遷について話を聞きました。埋め立てでどんどん狭くなっていった漫湖、現在の汚染の主な原因の一つが生活廃水であるなど、人と深くつながっている国場川の現状を知ることができる講座でした。

1:説明をする上原先生 2:パケットで水質を調べる参加者



3:昆虫の形を整える参加者 4:説明をする藤田先生

7月30日、講師に藤田道男先生(環境省那覇自然環境事務所)を迎え、昆虫標本をつくる講座を行いました。

参加者が標本にする昆虫を虫かごに入れ、期待と不安が詰まった顔で集まってきました。

講座のはじめに、藤田先生から命の大切さについてのお話がありました。参加者は、「虫を殺すってどういうことだろう??命ってなんだろう?」と考えながら毒ビンの中に入れた昆虫を見つめていました。

次に取り出した昆虫に針を刺し、展翅板に展翅テープや針でとめていきます。細かい作業ですが、昆虫を

立派な標本にしてあげようと、参加者は真剣に取り組んでいました。出来栄は・・・かなりきれいにできていて、藤田先生もびっくりしていました。

今回の講座は、家庭にあるものを使って昆虫標本をつくりました。展翅板は発泡スチロール、展翅テープはクッキングペーパー、昆虫の形を整える針はまち針を使用しました。「帰ってから自分で作ってみる!!」と参加者から感想を頂きました。



トントンミークラブ 速報!!



8月の毎週金曜日、新企画「トントンミークラブ」を開催しています。参加費無料!! 予約必要なし!! のトントンミークラブ、たくさん子どもたちが参加しています。

ここでは、8月4日に行われた第1回目のトントンミークラブの様子を紹介します。

トントンミーつかみ



しっかりトントンミーを見たことあったかな?
トントンミーはどんな生き物?

におい当てゲーム



ムーチーの匂いがする!! (ケースの中は月桃です。)

芝生で拾い物



キノコ見つけたよ。

漫湖水鳥かわら版 37

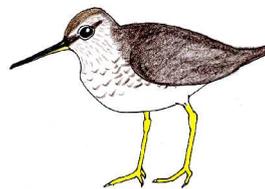
~ 7月 炎天下にシギの姿 ~

7月	羽数	先月との比較
ゴイサギ	3	
ダイサギ	10	
チュウサギ	6	
コサギ	8	
アオサギ	6	
クロツラヘラサギ	1	
バン	2	
アカアシシギ	4	
アオアシシギ	2	
タカブシギ	2	
キアシシギ	39	
チュウシャクシギ	3	
クロハラアジサシ	1	
コアジサシ	7	
合計	94	

6月26日 キアシシギ

とってもさびしかった干潟にシギが帰ってきました。この日観察できたのは、キアシシギ31羽。久しぶりに走り回るたくさんのシギを見たような気がしました。

これから、帰ってくるシギを見つけるのが楽しみです。



7月8日 クロツラヘラサギ

センターの望遠鏡からクロツラヘラサギを1羽確認しました。この日以来姿が見えなくなってしまったので「どうしたんだろう?」と心配していたところ、7月下旬に具志干潟で見たとの情報ももらいました。まだ、この周辺にいるようです。クロツラ君、夏バテしないようにね。

ポスター キッチフレーズ募集！！



センターでは、より多くの方にセンターを知っていただくとうとポスターを製作することになりました。

そこで、ポスターに掲載する標語を大募集します!!応募資格は沖縄県在住の方で、応募点数に制限はありません。多くの生物が生息する漫湖・漫湖の自然を楽しむ漫湖水鳥・湿地センターをアピールするキッチフレーズお待ちしております。

詳しくは、センターまでお問い合わせください。

tel:098-840-5121 fax:098-840-5118

漫湖での夏の思い出を作品にしてみよう!!

絵画・作文コンクールの作品もまだまだ募集しています。

ようこそ! 漫湖水鳥・湿地センターへ
団体利用

7月			
学童・児童クラブ	地域	医療・福祉関係	
しばみつ学童	那覇市	デーサービス	那覇市
小学校		ていだ開南	
とよみ小学校4年生	豊見城市	その他	
高等学校		国立大付属学校連盟	
南部農林高等学校	南風原町	九州理科部	
医療・福祉関係		若葉教室	宜野湾市
デーサービスていだ開南	那覇市	丸ごと南部	
		ネットガイド	



総入館者数
64,823名

7月の入館者数
1,876名
(うち団体 265名)

編集後記

大潮が近くなると、センター周辺で卵を抱えたオカガニをよく見かけます。漫湖で産卵するのか、駐車場を横切っていきます。都市部にある漫湖で大自然を感じる瞬間です。がんばれオカガニ!!車に引かれるなよ!!



中井 聡子

< 漫湖水鳥・湿地センター管理運営協議会(環境省・沖縄県・那覇市・豊見城市) >

〒901-0241 沖縄県豊見城市字豊見城 982 TEL(098)840-5121 FAX(098)840-5118

開館時間 9:00 ~ 17:00 休館日: 月曜日(月曜日が祝日の場合・翌日) 年末年始(12/29 ~ 1/3)

E-mail: manko_mizudori@ybb.ne.jp

HP: http://www.geocities.jp/manko_mizudori/